劇評募集の廣告

歌舞伎座の芝居も愈々本日より開場のよしに付き時事新報は例に依り廣く劇評を世の好劇家に募り粹中の粹を得て之に差繪を加へ紙上に掲載する筈なれば左の約束に從ひ續々投寄あらん事を乞ふ

一評は一幕にても總幕にても幕數は評者の隨意に任す紙上に登載したるものには一幕に付き時事新報一個月分を呈す

一投稿の期は來る十一月三日を限る

十月二十八日　時事新報社

時事新報

豐年喜ぶべき乎

今年の稻は稀なる豐作にして土地により二年作なりと云ふもあり少なくも一割二割の增穫あるべき由にて全國一般到る處殆んど凶聲を聞かざる上に米の價は未だ左程に下落せず概して一石七圓內外の市況なれば農家の天地は恰も花の春の如く之を祭禮の賑ひに徵しても其威勢は夥しきものにて公債證書又は銀行株券を死守する士族輩の如きは背後に瞠若として一言なく却て百姓に素見され公債、株券の利息は今年何程にて候やなどと問はれて當惑する者所在比々みな然りといふ農國と聞えたる我國に於て斯る現象を耳目にするは誠に目出たき限りなれども元來農業の性質は投機一攫の冒險事業と異にして假令へ豐作の幸運に遇ふことを得るにもせよ其今年に餘る所は之を明年の足らざるに備へ豐年にも濫に奢美を競はず凶歲にも敢て狼狽訴窮せざるの用意をなし長久永遠を目的として漸次農事を改良して生活の幸福を增進するの外なきものなり若しも其事業の實着至極なるを思はずして恰も豐年を僥倖し有るに任せて歌舞し無きに從て呻唫するの有樣にては農家の運命も誠に墓なきものにして啻に其私に於て艱難を招くのみならず全國公衆に對して夥しき害毒を流すものと云はざるを得ず然るに人心の薄弱にして放肆に流れ易きは是非もなき所なる歟既往農家の歷史に於て屢々右の艱難を經驗したるにも拘はらず偶々豐作の好況に遇へば忽ち前日の苦艱を忘却して無謀の振舞をなし鬱散の快樂は界を超えて豪奢となり得々日を消し財を散して前後を顧みざるものなきに非ず左れば今年の如き豐作の年柄には斷然從來の心懸を一新して適當の方法により來年の準備を勵むときは萬一不幸にして歲の凶歉に遇ふことありとても依然たる今年の面目を保存して之を公にしては前途の改良進步を期すべく之を私にしては農家自身の面目を張るに足る可し此程の事なり某地方の農家某氏は兼てより有名の儉約家にして衣食住一切殆んど平準の以下に沒し諸々の割賦金等も嘗て醵出したる例なければ鄉黨皆これを吝嗇賤奴と呼び陰に爪彈きして斥け居たりしに彼の米價騰貴の影響は人民一般の難儀となりて殆んど看るに忍びざるの有樣となりしより儉約家は爰に大に倉庫を開き金を散じ米を與へて一大救助の實を施し他人の及ばざる儉約は轉じて他人の及ばざる慈善となりしを見て鄉人も只管これを感歎し由て以て自家の不名譽を回復したるのみならず鄉黨の風儀を導いて漸く勤儉に向はしめたりと云ふ此等の美談は必ずしも移して農家一般を規すべきに非ざれども唯金錢の審にして積むの動くに任せ一時豐熟の勢を貪りて毫も將來の用意を顧みざるが如きは決して公私經濟の利益にあらず唯我輩の論旨は未だ至らずして農家一般の心に貫徹せざらんことを愼むのみ且この際に用意せしむるの方法如何に付ては各地の狀況自から種々にして一概に之を評定す可らず地方當局者の着意盡力を望むは萬々なれども主として村鄉に先達たる人々の周旋こそ最も有力なる可ければ自治の制度を實施せんとする折柄と云ひ旁々以て充分に講究する所あらんことを我輩の千祈萬禱して已まざる所なり我輩は前號の紙上に於て政體上の一段落と共に政略をも亦一新して大に勸儉の實を擧げんことを政府に向て所望せしが此の事たる元來一部政府の獨り能くする所にあらず在朝在野共々に相提携して幾年の後始めて漸く効果を見るべきものなれば民間に處する人々も今年の機會に其心事を一新して公私經濟の漸進を勉め徐々文明富強の域に達せんことを紳に書して忘れざらんを望む者なり

雜報

○正誤　一昨廿六日發兌貴社新聞雜報欄內に國民自由黨の機關新聞と題し「今度國民自由黨を組織せんとする有志者は大同新聞を讓受け大に社內を改革し其名稱をも改めて專ら機關の用に供せんと目下相談中なるよし」と掲げられたり抑も我大同新聞社は未だ曾て一手にて持主の權利を有し他より如何なる相談あるも決して讓與せざるの決心に有之然るに右樣の記事掲載相成候ては殊に大同新聞の名譽并に信用に損害を與ふると少なからず府下同業中最も事情の探知に精密なりと稱せらるゝ貴社新聞にして此の如き誤謬を見るに至りたるは果して如何の行違ひに原由せし次第あるや尙今後とても切に貴社に向ふて十分の注意を勸告せざるを得ざるなり就て此の全文掲載の上明日の紙上に正誤の手續履行相成度此段不取敢及請求候也

十月廿七日　大同新聞社

時事新報社御中

○正誤　拜呈貴社今廿七日發兌の紙上に對等條約會員の政談演說と題し昨廿六日蠣殼町友樂館に於て開會せし政談演說會は立憲自由黨の組織上に不滿を抱く人々の一結合同ある對等條約會員の演說にして國民自由黨に關係を有せる樣御掲載有之候得共同日の出席辯士中小生并に山田泰造利光鶴松市川重吉の三氏は純然たる立憲自由黨員にして對等條約會員にあらざるのみか夫の世に唱ふる國民自由黨抔には毫末の關係も無之同日の演說會に出席せしは單に會主の招聘に應したる迄にして貴社新聞御掲載の如き國民自由黨の組織上人氣を買はん抔とは實に輕妄極る虛說たることは出席辯士中利光氏が國民自由黨と題せる演題を以て同黨を徹頭徹尾攻擊せし事實に由ても明瞭の事なり然るに前條の樣御掲載有之候ては小生共の迷惑少なからず候間此全文御掲載の上至急御正誤有之度右及御依賴候也

神田駿河臺南甲賀町四番地

十月廿七日　久保田高三

時事新報編輯局御中

○中津通信（十月二十一日發）

中津日融銀行　當地京町私立中津日融社は是まで資本金額四萬圓なりしが明年一月より更に二萬圓を增加し都合六萬圓を以て中津日融銀行と改稱し益々業務を擴張するといふ○裁判宣告　今春三月以來當地方の一問題なりし宇佐郡撰出縣會議員賄賂事件の公判は過般當裁判所にて開廷中なりしが昨日漸く宣告濟みとなり南精一氏は輕禁錮二箇月罰金十圓其他の諸氏も同じく夫れ〳〵所罰せられたれど一同皆な之れに服せず上告する筈なりと○コレラ病の再發　一時撲滅の姿なりしコレラ病も過日來又々再發の模樣ありて日々の新患者頗る多く一旦閉院せし避病院も數日前より再び開院することゝなりたり今其源因を聞くに重もに飲食を愼まざるの油斷より發生せし者ならんと云ふ

○福井通信（十月廿一日發）

縣官の交迭　地方官々制の發布と共に一名の書記官が交迭し又縣屬にも多少免非の淘汰あるべしとて本縣三百の屬吏雇員は何れも不安の有樣なり○杉田氏と壯士　第二區選出代議士杉田定一氏は今日東京の政界に於て勢力を樹んと欲せば必ず壯士を有せざる可らずとて今回一の倶樂部を設け三千圓の資金を募りて四十名の壯士を養生し以て政界に雄飛する計畫なりと云ふ目下既に多少の義捐あれども未だ豫定の額には達せざる由○郡長の候補者　曩に貴族院議員に當撰せし南條今立郡長男爵本多副元氏は今度其郡長を辭せしより最早二三の候補者顯れ出て陰然競爭の姿あり○安立縣知事　本縣知事安立利綱氏の位地に就き其筋に請願せんとて昨今奔走するものありと云へるが右は福井士族中一派の希望に過ぎざるよし元來同知事は温厚篤實の人にして敢て事業を起して功名を得んとするが如きことなく常に一般の輿論を尊重するの傾きあり然るに彼の一派は無事に苦しむの餘り知事は一事業をも爲す能はざるものありなどとて斯くは其計畫をなすものありと云ふ○鑛山の改良　縣下大野面谷鑛山は銀銅鉛の最良鑛脈あれども是まで資本を投ずること尠かりし爲め充分に發掘すること能はざりしが昨年舊持主某より岩崎彌之助氏へ讓渡したるより今度同氏は大に資本を投じ坑穴より面谷に至る三哩間に軌道を布設する都合ありと

○山口通信（十月二十日發）

錦帶橋　吉川の算盤橋とて其名を知られたる周防國玖珂郡岩國の錦帶橋は今を去る三百年前舊岩國藩主吉川廣嘉氏が數歲拮据經營したるものにして其堅牢なるは今更云ふ迄もなきことなるが何分久しき星霜を經過したることとて追々腐朽を生じて頗る危險の恐あるより四月以來人馬の通行を停止し渡船を以て之に代用せり而して之が維持架換の事に付ては或は之を解破し去りて同橋より一町許川上の河幅狹き處に鐵橋を新架せんと云ひ或は其儘存置して修繕を加ふるか若くは其結構に則りて新築す可しと云の二說ありて前說は當局官吏之を主張し後說は同地人民の希望する處にして何れにも決定せざりしが昨今聞く處によれば後說を實行するに付ては巨大なる材木必要あるに今之に適用する材料を得るに困難なるより愈々前說を實行することに決定し豫算費額凡十六萬圓を以て鐵橋を新架し其竣工を待て舊橋を解破し又二萬圓の費金を以て同地横山村より玖珂村に國道を通ずることに相成るよし○外人山口に女學校を起さんとす　米國基督教會にては吉敷郡山口に女學校を建設することに決定し來る十一月より開校する都合にて外國人の女教師數人は不日來着するよし尤も校舍は當分相當の家屋を借り受くる筈にて山口高等中學校教師ベッヤ氏主として其周旋を爲し居ると聞く○里芋の花　阿武郡嘉年村居田某は同村の助役をも勤め頗る農事熱心家にして公務の餘暇自ら諸種の栽培に從事する由なるが今春某の畑地に植付たる里芋は殊の外能く成長せし中に一種變生の一株ありて異樣の莖を生し其長さ殆んど三尺に垂んとするまでも延び出て其末端には黃色にて楕圓形（所々に數十の凹所あり）花樣の如きものを生したりと云ふ○銅鑛の發見　阿武郡彌富村大字彌富下村にては數箇所の銅鑛脈を發見し已に二箇所は試掘許可を得其他の箇所も資本金を得次第採掘せんと昨今奔走中なり○井上伯來縣の噂　伯は當分三田尻驛邊に閑居する都合にて夫人同伴不日來縣す可しと云ふ○代議士上京并送別宴會　本縣第一區撰出衆議院議員吉富簡一氏は來る十一月五日頃上京するに付き吉敷郡山口市街有志者數名は同代議士を一昨日祇園染香亭に請し送別の宴會を開きたり○輸出入の不平均　我邦が諸外國と貿易を開きたる以來輸出入の不平均を生じたる實に本年の如きはあらざ

るべし先づ米穀
二百萬圓の多き
品出入の不平均に
る分も非常の巨額
百圓にも及び雙方
を生じたるあり
にして斯くも多額
べきや現に横濱神
兌換券を受取れば
來て銀貨と引換へ
之が爲に銀貨を撒
圓に及ぶこともあ
るも久しからずし
造幣局に於ては日
れば先づ差當り供
如し扨て今後斯く
銀貨を吸收するの
出して之より二千
常の豐作なれば其
外國に輸出するを
く雙方の收入を以
錦なるべけれども
も計るべからず實
易ならざる秋なり

○三椏　は富士山
料に供し居たりし
しより大に聲價を
にも移植すること
の景況を聞くに近
り栃木大林區署に
仕立中にて明年に
苗木を悉皆植付く
ゝ三千餘圓に上る

○石油の廻送　橫
年稀なる不振に
りし處去月下旬頃
好況にして相場も
氣配益々宜しく
十二日橫濱居留地
萬二千函の內六萬
其の價なる二十五
と云ふ

寄

左の一篇は去る
協會に於て演說
り

[illegible]